藤原　淳子

高５４期

登美丘高校教員

昨年、母校に教員として戻り、私の第二の登美高生活がスタートしました。
高校時代と同じ通学路を通り、正門前の坂を上りきると「今日も１日頑張ろう！」と思えます。
登美高は今もたくさんの笑顔や笑い声で溢れており、自分の楽しかった高校生活の記憶が蘇ってきます。

私の第一の登美高生活は、部活動中心でした。
朝５時台の電車で登校し、朝練のあと汗だくのまま授業へ。放課後はすぐに体育館に向かい、走り回っていました。
毎日がとてもハードで家に帰るとバタンキュー。でも、そんな毎日がとても楽しく充実していました。
「自分の限界を超える楽しさ」・「共に戦う仲間の大切さ」・「見守ってくれる先生の温かさ」
部活動に一心不乱に打ち込む中で、多くのことを学びました。こんなにも熱中できる高校生活を送れたのは、登美高だったからだと思います。

そして、教員として始まった第二の登美高生活。
今の私の目標は“生徒が夢中になれる環境を作る”ことです。
たった 3 年しかない高校生活ですが、夢中になれるものを見つけ、打ち込みむこと。その時間はかけがえのない時間になり、生涯の支えになるはずです。
登美高という場所がこれからも“夢中になれる”そんな学校であり続けられるよう、教員として尽力していきたいと思います。
最後になりましたが、登美丘高校 100 周年、本当におめでとうございます。

■プロフィール

2006 年 3 月　登美丘高校卒業
2010 年 3 月　天理大学　体育学部　卒業
2021 年 4 月　登美丘高校に教諭として赴任